

平成 28 年

定期代議員会議案書

日時 平成28年3月20日（日）午後2時
会場 相模原市 ユニコムプラザさがみはら

神奈川県ソフトテニス連盟

平成 28 年 定期代議員会議案書

目 次

平成 28 年 定期代議員会次第	2
表彰者名簿	3
議案第 1 号 平成 28 年度事業計画案	8
<1>事業方針	8
<2>大会日程ならびに会場	10
<3>大会要項（中央大会等県外大会）について	10
<4>平成 28 年度登録方法と会費について	13
<5>平成 28 年度登録補助金について	13
議案第 2 号 平成 28 年度予算案	14
1. 総収入支出予算額	14
2. 一般会計収支予算書	15
3. 特別会計	18
(1) 国体関係費特別会計収支予算書	18
(2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書	19
別表	
収入	
1. 登録会費収入の内訳	20
2. 大会参加料収入の内訳	21
3. 補助金収入の内訳	22
支出	
1. 大会参加料の内訳	22
代議員	23

平成 28 年 定期代議員会次第

1. 開会のことば 県連理事長 増田 大吾
2. 挨拶 会長 河野 洋平
3. 議長推薦
4. 議長挨拶
5. 議事 議案第 1 号 平成 28 年度事業計画案
議案第 2 号 平成 28 年度予算案
6. 表彰式 叙勲受章
旭日双光章 1 名
(公財) 日本ソフトテニス連盟表彰
支部功労賞 2 名
優良団体賞 1 団体
(公財) 神奈川県体育協会表彰
スポーツ優秀賞 2 名
神奈川県ソフトテニス連盟表彰
地域功労賞 8 名
優良団体 2 団体
ランキング第 1 位 48 名
優秀賞 (個人) 163 名 (113 名)
優秀賞 (団体) 6 団体
7. 受彰者代表謝辞
8. 閉会のことば

※懇親会

表彰者名簿

叙勲受章

- 1 旭日双光章 笠井 達夫 殿 (県連盟副会長)

(公財) 日本ソフトテニス連盟表彰

- 1 支部功労賞 佐藤 到 殿 (県連盟副会長)
鈴木 敏雄 殿 (県連盟理事)
- 2 全日本ランキング
中学女子 第5位 鈴木 優美 殿 富澤 彩加 殿 (鎌倉市立第二中学校)
シニア男子60 第3位 中村 弘志 殿 (湘南クラブ)
- 3 優良団体賞 横浜創英高等学校 (高体連)

(公財) 神奈川県体育協会表彰

- 1 スポーツ優秀賞表彰
杉脇麻侑子 殿 (早稲田大学)
鈴木 優美 殿 (鎌倉第二中学校)

神奈川県ソフトテニス連盟表彰

- 1 地域功労賞 松浦 和子 殿 (川崎市協会推薦)
楠 千代子 殿 (横須賀協会推薦)
吉田 文幸 殿 (小田原協会推薦)
木下 達美 殿 (相模原市協会推薦)
高橋 謙治 殿 (県央協会推薦)
鶴野 浩 殿 (平塚市協会推薦)
佐藤 到 殿 (高体連推薦)
岩田 圭祐 殿 (県学連推薦)
- 2 優良団体賞 川崎市立橘高等学校 殿 (川崎市協会推薦)
横浜創英高等学校 殿 (県高体連推薦)

3 優秀賞（個人）

（1）ランキング第1位

小学男子	菅野晃太郎 殿	永嶋 太一 殿（南大師ジュニア）
小学女子	渡辺 結奈 殿	長谷川日紀 殿（横浜泉ジュニア）
中学男子	細野 奨太 殿	和泉 希 殿（伊勢原市立成瀬中学校）
中学女子	鈴木 優美 殿	富澤 彩加 殿（鎌倉市立第二中学校）
高校男子	押見 陸 殿	野崎 瞭 殿（横浜創英高等高校）
高校女子	森 瑞貴 殿	石井 美有 殿（日本大学藤沢高等高校）
大学男子	神戸 開 殿	高洲 拓己 殿（東海大学）
大学女子	高橋 杏奈 殿	河村 広美 殿（明治学院大学）
一般男子	石井 健太 殿	伊藤 浩貴 殿（せせらぎクラブ）
一般女子	市川 結花 殿	檜山ちはる 殿（JOHNNY'S）
成年男子	浅倉 圭一 殿	椎名 宏 殿（三浦クラブ・桜倶楽部）
シニア男子45	米山 豊 殿	大中 和彦 殿（厚木テニスクラブ・平塚市役所）
シニア女子45	小野 暁子 殿	門倉久美子 殿（あじさいクラブ）
シニア男子50	徳島 良 殿	山口 久茂 殿（厚木テニスクラブ）
シニア女子50	多田貴美代 殿	野口 弘美 殿（あしがら21・あじさいクラブ）
シニア男子55	石川 信夫 殿	関和 栄次 殿（厚木テニスクラブ）
シニア女子55	金子 由美 殿	加藤 君子 殿（横浜スマイル・三菱重工相模原）
シニア男子60	阿部 藤彦 殿	鈴木 敏雄 殿（三菱重工相模原・横須賀テニスクラブ）
シニア女子60	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿（湘南クラブ・横浜レディース）
シニア男子65	西村 泰 殿	高橋 良一 殿（JFE 鉄友会）
シニア女子65	田中 町子 殿	石井 順子 殿（綾瀬テニスクラブ・朝比奈クラブ）
シニア男子70	有馬 勝正 殿	友近 俊輔 殿（大和庭友会・厚木フレンドリー）
シニア女子70	道下 純子 殿	奈良部好子 殿（茅ヶ崎クラブ・横浜シティクラブ）
シニア女子75	村上乃武子 殿	安田 淳子 殿（太陽クラブ・横浜健康福祉クラブ）

（2）神奈川県選手権大会

小学校低学年男子	太田 光乙 殿	新井 隆太 殿（出口ジュニア）
小学校低学年女子	三角 梨花 殿	伊東李々花 殿（南大師ジュニア）
小学校高学年男子	菅野晃太郎 殿	永嶋 太一 殿（南大師ジュニア）
小学校高学年女子	渡辺 結奈 殿	長谷川日紀 殿（横浜泉ジュニア）
中学校男子	澤田 浩輔 殿	工藤眞明也 殿（横浜市立領家中学校）
中学校女子	高橋 友南 殿	伊東 未来 殿（大磯町立大磯中学校）
高校男子	押見 陸 殿	野崎 瞭 殿（横浜創英高等高校）

シングルス	松元 康希 殿 (県立秦野高等学校)	
高校女子	森 瑞貴 殿	石井 美有 殿 (日本大学藤沢高等学校)
シングルス	栞野 未来 殿 (県立小田原高等学校)	
大学男子	佐久間英希 殿	吉井 健史 殿 (東海大学)
大学女子	木下 有理 殿	山下香菜子 殿 (東海大学)
一般男子	石井 健太 殿	伊藤 浩貴 殿 (せせらぎクラブ)
一般女子	川崎 優巳 殿	内田 有紀 殿 (JOHNNY'S)
成年男子	北崎 英樹 殿	名取 一幸 殿 (三菱重工相模原)
シニア男子4 5	米山 豊 殿	大中 和彦 殿 (厚木テニスクラブ・平塚市役所)
シニア女子4 5	小野 暁子 殿	門倉久美子 殿 (あじさいクラブ)
シニア男子5 0	徳島 良 殿	山口 久茂 殿 (厚木テニスクラブ)
シニア女子5 0	多田貴美代 殿	野口 弘美 殿 (あしがら21・あじさいクラブ)
シニア男子5 5	成瀬 政寛 殿	和田 功 殿 (横浜ドリームズ)
シニア女子5 5	金子 由美 殿	加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)
シニア男子6 0	阿部 藤彦 殿	鈴木 敏雄 殿 (三菱重工相模原・横須賀テニスクラブ)
シニア女子6 0	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿 (湘南クラブ・横浜レディース)
シニア男子6 5	西村 泰 殿	高橋 良一 殿 (JFE 鉄友会)
シニア女子6 5	田中 町子 殿	石井 順子 殿 (綾瀬テニスクラブ・朝比奈クラブ)
シニア男子7 0	有馬 勝正 殿	友近 俊輔 殿 (大和庭友会・厚木フレンドリー)
シニア女子7 0	小田 朋子 殿	林 紀洋子 殿 (横浜グリーン)
シニア女子7 5	村上乃武子 殿	安田 淳子 殿 (太陽クラブ・横浜健康福祉クラブ)

(3) 全国高等学校定時制通信制大会

男子団体優勝 県立横浜修悠館高等学校

監督 山田 洵 殿

選手 藤井 俊成 殿 佐々木智也 殿 佐藤 峻 殿

鈴木 英雄 殿 平井 悠毅 殿 松岡 翔大 殿

高島 悠斗 殿 小野寺 輝 殿

男子個人 第3位 平井 悠毅 殿 松岡 翔大 殿 (県立横浜修悠館高等学校)

(4) 関東選手権大会

成年男子 優勝 宇津木孝弘 殿 増田 和也 殿 (せせらぎクラブ)

成年女子 優勝 田中 道子 殿 (横浜レディース)

シニア男子4 5 準優勝 米山 豊 殿 大中 和彦 殿 (厚木テニスクラブ・平塚市役所)

シニア女子4 5 準優勝 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)

シニア女子4 5 第3位 小野 暁子 殿 門倉久美子 殿 (あじさいクラブ)

シニア男子70 準優勝 柳川 真寛 殿 大野 太郎 殿 (金剛寺クラブ・ひまわりスポーツクラブ)
シニア女子70 準優勝 道下 純子 殿 奈良部好子 殿 (茅ヶ崎クラブ・横浜シティクラブ)
シニア女子70 第3位 黒田 妙子 殿 橋本 敦子 殿 (日ノ出川クラブ・“K”S. T CLUB)

(5) 関東実業団ソフトテニスリーグ戦

男子リーグ戦 優勝 1部 厚木市役所

(6) 関東高校選抜ソフトテニス大会

女子団体3位 川崎市立橋高等学校
監督 塚野 剛史 殿
選手 安土 月乃 殿 鈴木加奈子 殿 芝本 晴奈 殿
三野 友希 殿 杉田 来未 殿 佐藤 史摩 殿
村田くるみ 殿 布川 彩美 殿

(7) 関東家庭婦人大会

シニア女子45 準優勝 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)
シニア女子50 優勝 安藤 桂子 殿 (横浜レディース)
シニア女子50 第3位 飯塚あけみ 殿 黒木 真弓 殿 (横浜レディース)
シニア女子55 第3位 木元 光子 殿 大熊扶佐恵 殿 (大和庭友会・戸塚会)
シニア女子65 準優勝 田中 町子 殿 石井 順子 殿 (綾瀬テニスクラブ・朝比奈クラブ)

(8) 国民体育大会関東ブロック大会

少年男子 第1位

監督 松口 良也 殿 (横浜創英高等学校)
選手 押見 陸 殿 (横浜創英高等学校) 為我井洋樹 殿 (東海大学相模高等学校)
和泉 輝 殿 (横浜創英高等学校) 北村 優樹 殿 (相洋高等学校)
松元 康希 殿 (県立秦野高等学校) 野崎 瞭 殿 (横浜創英高等学校)
渡辺 濤治 殿 (横浜創英高等学校) 柴田 大輝 殿 (相洋高等学校)

(9) 東日本選手権大会

成年男子 第3位 太田 努 殿 小林 宗 殿 (IX日鉱日石金属倉見・JOHNNY'S)
シニア女子45 準優勝 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)
シニア男子65 第3位 木本 正之 殿 (湘南クラブ)
シニア女子70 第3位 道下 純子 殿 奈良部好子 殿 (茅ヶ崎クラブ・横浜シティクラブ)
シニア男子75 準優勝 栗田 舜二 殿 小野 俊幸 殿 (金剛寺クラブ・ひまわりスポーツクラブ)

(10) 関東中学校大会

女子個人3位 鈴木 優美 殿 冨澤 彩加 殿 (鎌倉市立第二中学校)

(11) 都道府県対抗全日本中学生大会

女子シングルス 優勝 鈴木 優美 殿 (鎌倉市立第二中学校)

(12) 関東小学生大会

高学年男子 第3位 菅野晃太郎 殿 永嶋 太一 殿 (南大師ジュニア)

4 優秀賞 (団体)

関東高校選抜大会	女子	第3位	川崎市立橘高等学校
関東実業団リーグ	男子	優勝	厚木市役所
全国高等学校定時制通信制大会	男子	優勝	県立横浜修悠館高等学校
国民体育大会関東ブロック	男子	第1位	少年男子
全日本クラブ選手権大会	男子	第3位	せせらぎクラブ A
全日本クラブ選手権大会	女子	準優勝	桜倶楽部 A

議案第1号 平成28年度事業計画案

<1> 事業方針

1. 競技者育成プログラムの推進

(1)一貫指導システムを構築しジュニア強化・競技力向上を図る。

2. IT化の推進

(1)IT 会員登録システムの活用により、事務処理の効率化と登録料納付の向上を図る。

(2)会員登録システムに連動し審判、技術等級の認定管理を行う。

(3)IT システムを活用して、審判、技術等級の資格チェックと大会申込手続きの効率化を図る。

3. 日本連盟主催各種研修会（1級審判員、小・中・高指導者等）への派遣を行う。

4. 競技性の向上

(1)ゼッケンの統一化

県内大会での一般、成年、シニアの種別においてもゼッケン着用と審判資格ワッペンを持参し、審判の際は胸に着用し、審判員の意識向上を図る。

高体連未定、中体連は、関東、全国大会等の中央大会の神奈川県代表選手については、28年度より指定のゼッケンの着用を義務付ける。

〔白の台布に黒文字特大ゴシック、上段に都道府県名又は所属連盟名、中段に名前、下段に所属名（企業名・クラブ名・学校名）〕

参加の条件としてゼッケンの着用を義務付け、観戦者並びに競技運営者からのプレーヤーの視認性の向上を図る。

5. 協会、学連、高体連、レディース連盟間の交流促進

(1)生涯スポーツとして愛着を持てるよう各連盟間の交流を図り、潜在する競技人口の維持・拡大に努める。また、交流を通じて競技力の向上を図る。

6. 県内普及事業の実施

(1)小学生養成、初心者指導・スポーツ教室・指導者講習会の開催及び助成

・「ソフトテニスルールとマッチの進め方」の冊子を活用（小学生の低学年対象）することにより、小学生の競技に対する理解を深める。

(2)公認審判員資格講習会の開催ならびに審判員の指導育成

(3)ジュニア審判普及の促進（小学生と中学生を対象）

・小学生低学年用ジュニア審判マニュアル（日本連盟）を活用し、ルール及び審判制度の理解を深める。

(4)マスターレフェリーおよびマスターアンパイヤーの認定（50歳以上）

(5)公認指導員制度の資格取得促進と指導者バンクの活用

・審判講習会事前受付、認定証交付等の事務改善により会員の利便性の向上を図る。

・国民体育大会の監督は2015年からシングルス導入により公認スポーツ指導員、公認ソフトテニスコーチが全種別ベンチに入ることとなったため、潜在する有資格者の活用並びに、新たな指導者等の資格取得を支援し、指導体制の充実を図る。

(6)技術等級・指導員資格認定

①技術等級の認定（大会実績、検定会）②名誉指導員の認定

- ・技術等級制度の周知・徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。

(7) ソフトテニス愛好者増加対策の推進

- ・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレイできる環境を提供する。またレディースを含めた社会人を対象として愛好者増加対策事業を実施する地域協会等を支援する。
- ・指導者に対し日本連盟で作成したDVD付き指導教本を提供し、愛好者の指導に活用することにより、より一層の愛好心の向上を図る。
- ・昨年上映された「案山子とラケット」を非劇場（体育館、公民館等）で上映し愛好者の増加を図る。

(8) ソフトテニス週間の実施

- ・ソフトテニス週間が、10月の体育の日（月）を中心とした1週間であることを啓発し、県内の愛好者が、特に期間中はソフトテニスを楽しむ風土を醸成する。
- ・10月15日（土）平塚市立軟式庭球場において「小学生と保護者テニス教室」を開催する。

7. ソフトテニスを通じた青少年の健全育成

(1) ソフトテニスを通じて自己責任及びフェアプレイの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図る。

- ・環境宣言『来た時よりも美しく』フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』の横断幕を連盟主催大会での掲示やプログラム掲載を行うことにより、環境とマナーの向上を図る。

(2) 大会や強化事業を実施する際にごみの分別、持ち帰り等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも平等しく地球人として環境保全を推進するための物を大切に生活習慣を徹底する。

- ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加

(3) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・「ソフトテニスマナーBOOK」を活用し、役員・選手・監督・コーチ・応援者等それぞれがマナーをもって“ソフトテニスとは、ルールを尊重し、相手を尊敬するスポーツ”であることの啓発に努める。
- ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組むと共にソフトテニスで誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。
 - * 試合終了後の握手の励行を徹底推進する。
 - * ワッペン着用、審判をする際の姿勢・態度等、審判のマナーの向上を図る。
 - * 「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の継続推進。
- ・マナーキッズプロジェクト（NPO）と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる。

- ・暴力の根絶の徹底を図る。

8. 強化事業の実施

(1) 県内強化事業

- ・国体総合優勝と中央大会上位入賞を目指しての強化合宿・練習会の実施。
- ・競技力向上ジュニア対策強化育成練習ならびに関東中学校研修大会等の実施。
- ・小・中・高・大学・レディース等の強化事業に対する助成の実施。

(2) 県外強化事業

- ・中央大会、近都県大会への積極的に選手団を派遣する。

9. 競技団体のあり方・事業運営の調査、研究の実施

(1) 組織、人口、登録方法の調査の実施。

(2) 既存大会の整備、実施方法について検討。

10. 広報活動の促進

(1) 大会記録集の作成と一般広報活動の充実を図る。

(2) 機関誌「ソフトテニス」の定期購読を促進する。

(3) ホームページの充実

- ・日本連盟ホームページの周知・活用を図る。
- ・県連盟ホームページにおける大会結果速報の掲載・審判講習会事前受付システムの構築など、内容の充実を図る。

(4) 日本ソフトテニス連盟 TV の支局である神奈川 TV の積極的な活用

- ・神奈川 TV を積極的に活用し、小・中・高・社会人各層のソフトテニス活動の映像配信を行う。

<2> 大会日程ならびに会場

別紙大会日程表のとおり

<3> 大会要項（中央大会等県外大会）について

※中央大会等県外大会へ出場する場合は、ゼッケンは四隅を止めて、必ず着用すること。

大きさ……B5版（タテ 18.2cm、ヨコ 25.7cm）

表示方法……団体戦・個人戦共、黒文字特大ゴシック上段(1/4) 県名、中段(2/4) 名前、
下段(1/4) 所属名の3段式

1. 関東選手権大会（5月28日（土）・29日（日）雨天順延5月30日（月）群馬県・前橋市）

- ・県予選会を実施する。（各種別共、予選会を行い県代表を決定するが、申込数が出場枠に満たない場合予選会は行わない。）
- ・前年度大会の成績8本以内は、関東連盟からの推薦により出場できる。（但し同一ペアに限る。）
（予選会による県代表選出ペア数）……一般男女は24ペア、成年男女・シニア45男女・
シニア50男女・シニア55男女・シニア60男女・
シニア65男女・シニア70男女・シニア75男女・

シニア 80 男女は 12 ペア

- ・中央大会参加料は県連負担
 - ・中央大会参加資格… 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
2. 東日本選手権大会（7 月 16 日（土）・17 日（日）新潟県・新潟市他）
- ・全種別共フリー出場とし、県予選会を実施しない。
 - ・中央大会参加資格… 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・種別は関東大会と同じ。
 - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
3. 全日本社会人選手権大会（9 月 3 日（土）・4 日（日）茨城県・神栖市）
- ・県予選会を実施する。
（県代表選出ペア数）…一般男女 20 ペア、成年男女 12 ペア
 - ・中央大会参加資格… 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、成年は審判資格
4. 全日本シニア選手権大会（9 月 9 日（金）～11 日（日）熊本県・熊本市）
- ・種別… シニア 45 男女・50 男女・55 男女・60 男女・65 男女・70 男女・75 男女・80 男女・
混 45・混 50・混 55・混 60・混 65・混 70
 - ・全種別共フリー出場（県予選会を行わない）1 人 1 種別。ただし、混合ダブルスは重複参加可能
 - ・中央大会参加資格…審判資格
 - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
5. 全日本選手権大会（10 月 21 日（金）～23 日（日）山口県・宇部市）
- ・男子、女子共県予選会を実施する。ただし、本部推薦ペアを除く。
（県代表選出ペア数）…両種別共 4 ペア
 - ・中央大会参加資格……関東・全日本社会人大会の一般と同じ。
6. 全日本実業団選手権大会（7 月 29 日（金）～31 日（日）愛媛県・大洲市、今治市）
- ・男子、女子共県予選会を実施する。
（県代表選出チーム数）……男子 4 チーム、女子 4 チーム
 - ・厚木市役所、藤沢市役所 A は大会実績により、本部推薦にて出場
7. 全日本クラブ選手権大会（10 月 29 日（土）・10 月 30 日（日）千葉県・白子町）
- ・団体戦……県予選会を行わずフリー出場とする。
8. 全日本レディース大会（8 月 27 日（土）～28 日（日）宮城県・仙台市）
- ・全種別県予選会を実施する。ただし、はぎ、あじさい、さくら、ふじの 4 種別は県大会のみ。
（県代表選出ペア数）……すみれ 1 ペア、ばら 1 ペア、ゆり 1 ペア、きく 1 ペア、あやめ 1 ペアで 1 チーム
9. 国民体育大会（10 月 2 日（日）～10 月 5 日（水）岩手県・北上市）
- ・全種別共予選会・選考会を実施（第 1 次予選会以降は選考会により県代表選手を決定・県連盟推薦も併用）

10. 関東小学生選手権大会（7月2日（土）・3日（日）群馬県・前橋市）
全日本小学生選手権大会（7月28日（木）～7月31日（日）山形県・天童市）
全国小学生大会（平成29年3月29日（水）～31日（金）千葉県・白子町）
 - ・関東・全日本は県予選会を実施する。選出ペア数……関東は高学年男女各8ペア、低学年男女各4ペア、全日本は男女各4ペア（全国小学生大会はダブルス①5年生の部②4年生以下の部男女各4ペア以内、シングルス6年生の部男女各2名以内）
11. 関東実業団リーグ（7月2日（土）・7月3日（日）予備日：千葉県・白子町）
 - ・団体戦のみとする。
 - ・県予選会を行わず、フリー出場とする。
 - ・ダブルス2ペア、シングルス1名の対抗戦とし、チームの編成は監督1名、選手8名以内とする。
 - ・5チームのリーグ戦で同レベル同士が対戦する部制となっている。
12. 国民体育大会関東ブロック大会（8月13日（土）～14日（日）山梨県・笛吹市）
 - ・種別…成年男子(2/8)、少年男子(3/8)、少年女子(4/8)
13. 関東家庭婦人大会（9月27日（火）・28日（水）東京都・江東区有明テニスの森公園コート）
 - ・全種別共予選会を実施する。
14. 日本スポーツマスターズ2016（9月24日（土）～26日（月）秋田県・大館市）
 - 種別…35男女、45男女、混合（35女・45男）
 - ・全種別共予選会を実施する。
15. 静岡県・神奈川県対抗大会（9月22日（木）神奈川県小田原テニスガーデン）
 - ・全種別共県予選会を行わず、国体代表選手を優先し県連盟が推薦する。
16. ねんりんピック（10月15日（土）～17日（月）長崎県・長崎市）
 - ・地域を考慮して県連盟が代表チームを推薦する。（藤沢ソフトテニス協会を県代表チームとして推薦）
（横浜市、川崎市、相模原市は政令市チームとして別に参加）

<4> 平成 28 年度登録方法と会費について

1. 登録方法は、各団体から直接（公財）日本ソフトテニス連盟のホームページにある会員登録システムを活用して県連盟と日本連盟へ登録することとする。ただし、大学は、学連経由とし、レディースは一括登録とする。
2. 登録会費は次のとおりとする。

区 分			金 額 (年額)
団体登録	社会人団体	県連盟	15,000 円 (1 団体)
	学 連	〃	3,000 円 (1 校)
	高 体 連	〃	6,000 円 (1 校)
	中 体 連	〃	2,000 円 (男女別 1 校)
	レ デ ィ ー ス	〃	50,000 円 (一括)
会員登録	社 会 人	日本連盟	1,000 円 (1 名)
		県連盟	1,000 円 (1 名)
	学 連	日本連盟	※日本学連経由で登録 500 円 (1 名)
		県連盟	500 円 (1 名)
	高 体 連	日本連盟	500 円 (1 名)
	中 体 連	日本連盟	500 円 (1 名)
	小 学 生	日本連盟	500 円 (1 名)
	指 導 者	日本連盟	1,000 円 (1 名)

<5> 平成 28 年度登録補助金について

団体名		
地 域 協 会	1 団体 (県連盟分)	4,000 円
	会員登録 1 名 (日本連盟分)	100 円
	〃 (県連盟分)	100 円
学 連	1 校 (県連盟分)	2,000 円
高 体 連	1 校 (県連盟分)	4,000 円
	1 名 (日本連盟分)	50 円
中 体 連	1 校 (県連盟分)	1,900 円
	1 名 (日本連盟分)	100 円
レ デ ィ ー ス	一括	30,000 円

※団体からの登録に対する補助金は、4.管理費、4.運営費補助として、個人からの日本連盟と県連盟への登録に対する補助金は、1.事業費、3.指導普及費、1.指導者、地域、ジュニア育成費で還元する。

議案第 2 号 平成 28 年度予算案

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

1. 総収入支出予算額

項 目	収 入		支 出	
	28 年度予算額 <small>円</small>	27 年度予算額 <small>円</small>	28 年度予算額 <small>円</small>	27 年度予算額 <small>円</small>
一 般 会 計	41,769,500	42,140,500	41,769,500	42,140,500
特 別 会 計	8,530,000	8,960,000	8,530,000	8,960,000
合 計	50,299,500	51,100,500	50,299,500	51,100,500

特 別 基 金	5,000,000 <small>円</small>
---------	-------------------------------

特別会計の内訳

項 目	収 入		支 出	
	28 年度予算額 <small>円</small>	27 年度予算額 <small>円</small>	28 年度予算額 <small>円</small>	27 年度予算額 <small>円</small>
国 体 関 係 費	5,330,000	5,830,000	5,330,000	5,830,000
強 化 補 助 事 業 費	3,200,000	3,130,000	3,200,000	3,130,000
合 計	8,530,000	8,960,000	8,530,000	8,960,000

2. 一般会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

款	項	目	28年度予算額	27年度予算額	差引額	説明
1.	登録会費収入		18,470,000	18,457,000	13,000	別紙参照 (20 ページ)
	1.	団体登録料	3,570,000	3,572,000	△2,000	
		1. 社会団体	1,455,000	1,470,000	△15,000	
		2. 学連	33,000	42,000	△9,000	
		3. 高体連	762,000	750,000	12,000	
		4. 中体連	1,270,000	1,260,000	10,000	
		5. レディース連盟	50,000	50,000	0	
	2.	会員登録料	14,900,000	14,885,000	15,000	
		1. 日本連盟	13,700,000	13,680,000	20,000	
		2. 県連盟	1,200,000	1,205,000	△5,000	
2.	事業収入		16,956,500	17,445,500	△489,000	
	1.	大会参加料	6,746,500	7,235,500	△489,000	別紙参照 (21 ページ)
	2.	審判関係収入	10,050,000	10,050,000	0	
		1. 講習会参加料	250,000	250,000	0	
		2. 認定料	9,000,000	9,000,000	0	
		3. ハンドブック収入	800,000	800,000	0	
	3.	技術等級関係収入	160,000	160,000	0	
		1. 認定料	160,000	160,000	0	
3.	賛助会費収入		900,000	900,000	0	
	1.	賛助会費収入	900,000	900,000	0	
4.	補助金収入		3,793,000	3,738,000	55,000	別紙参照 (22 ページ)
	1.	日本連盟	3,683,000	3,633,000	50,000	
	2.	県社会福祉協議会	70,000	65,000	5,000	
	3.	大会実行委員会	40,000	40,000	0	
5.	雑収入		500,000	500,000	0	
	1.	雑収入	500,000	500,000	0	
6.	繰越金		1,150,000	1,100,000	50,000	前年度繰越金
	1.	繰越金	1,150,000	1,100,000	50,000	
		合 計	41,769,500	42,140,500	△371,000	

(支出の部)

単位：円

款	項	目	28年度予算額	27年度予算額	差引額	説明
1.	事業費		20,726,000	21,020,000	△294,000	
	1.	大会関係費	2,310,000	2,310,000	0	
		1. 社会人大会	1,100,000	1,100,000	0	
		2. シニアフェスタ	250,000	250,000	0	※県社会福祉協議会補助 70,000
		3. 全日本レディース大会予選	70,000	70,000	0	
		4. 中学選手権・高校国体予選	800,000	800,000	0	※日本連盟補助 中学選手権大会 30,000
		5. 全日本小学生大会予選会	90,000	90,000	0	※日本連盟補助 小学生選手権大会 30,000
	2.	大会参加料	2,536,000	2,790,000	△254,000	
		1. 大会参加料	2,536,000	2,790,000	△254,000	別紙参照 (22 ページ)
	3.	指導普及費	3,990,000	3,890,000	100,000	
		1. 指導者、地域、ジュニア育成費	2,950,000	2,900,000	50,000	※日本連盟補助 愛好者増加対策 150,000 地域・ジュニア育成 2,661,000 指導者研修会旅費 42,000
		2. 小学生・中学生全国大会派遣費	640,000	640,000	0	※伊勢実行委員会補助 都道府県中学生大会 20,000 ※日本連盟補助 全日本小学生交通費 120,000 ※白子実行委員会補助 全国小学生大会 20,000
		3. ソフトテニス週間関係費	150,000	150,000	0	※日本連盟補助 100,000
		4. その他指導普及費	250,000	200,000	50,000	※日本連盟補助 日本スポーツマスターズ 150,000
	4.	競技力向上費	3,200,000	3,180,000	20,000	
		1. 選手強化費	600,000	650,000	△50,000	選手強化費 ※日本連盟補助 競技者育成推進費 400,000
		2. 国体関係費 特別会計繰出金	1,790,000	1,650,000	140,000	特別会計繰出金 (18 ページ)
		3. 競技力向上補助事業 特別会計繰出金	810,000	880,000	△70,000	特別会計繰出金 (19 ページ)
	5.	審判関係費	6,990,000	7,050,000	△60,000	
		1. 審判講習会関係費	150,000	150,000	0	
		2. 認定料	6,100,000	6,100,000	0	
		3. ハンドブック代	640,000	700,000	△60,000	
		4. その他審判関係費	100,000	100,000	0	

単位：円

款 項	目	28年度予算額	27年度予算額	差 引 額	説 明	
6.	技術等級関係費	100,000	100,000	0		
	1. 認定料	80,000	80,000	0		
	2. その他技術等級関係費	20,000	20,000	0		
	7. 広報活動費	250,000	250,000	0		
		1. 大会記録集作成費	150,000	150,000	0	
	2. その他広報活動費	100,000	100,000	0		
8. 表彰費	1,350,000	1,450,000	△100,000			
	1. 代議員会表彰費	350,000	350,000	0		
	2. 主催大会表彰費	1,000,000	1,100,000	△100,000		
2. 加盟費	375,000	375,000	0			
	1. 日本連盟	150,000	150,000	0		
	2. 東日本連盟	20,000	20,000	0		
	3. 関東連盟	70,000	70,000	0		
4. 県体育協会	135,000	135,000	0			
3. 会員登録関係費	13,730,000	13,710,000	20,000			
	1. 日本連盟登録料	13,700,000	13,680,000	20,000	社会人@1,000×1,100名 高校生@500×2,990名 中学生@500×20,700名 小学生@500×390名 指導者@1,000×560名	
2. 会員登録事務費	30,000	30,000	0			
4. 管理費	6,364,500	6,427,000	△62,500			
	1. 事務局費	1,200,000	1,200,000	0		
	2. 会議費	1,000,000	1,050,000	△50,000		
		1. 代議員会費	550,000	550,000	0	
		2. 理事会費	250,000	250,000	0	
	3. その他会議費	200,000	250,000	△50,000		
	3. 一般管理費	2,000,000	2,020,000	△20,000		
		1. 備消耗品費	150,000	120,000	30,000	
		2. 印刷費	800,000	850,000	△50,000	
		3. 通信運搬費	300,000	350,000	△50,000	
		4. 旅費	150,000	200,000	△50,000	
	5. 雑費	600,000	500,000	100,000		
	4. 運営費補助	2,164,500	2,157,000	7,500		
1. 地域協会		388,000	392,000	△4,000	@4,000×97団体	
2. 学連		32,000	38,000	△6,000	@2,000×11校+10,000	
3. 高体連		508,000	500,000	8,000	@4,000×127校	
4. 中体連		1,206,500	1,197,000	9,500	@1,900×635校	
5. レディース連盟	30,000	30,000	0	一括		
5. 予備費	574,000	608,500	△34,500			
	1. 予備費	574,000	608,500	△34,500		
合 計		41,769,500	42,140,500	△371,000		

3. 特別会計

(1) 国体関係費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	28年度予算額	27年度予算額	差 引 額	説 明
1 繰越金	300,000	300,000	0	前年度繰越金
2 国体派遣費	2,200,000	2,600,000	△400,000	県国体派遣補助
3 補助金	110,000	300,000	△190,000	県体協一般健康診断費補助金
4 国体協力金	250,000	250,000	0	国体予選会参加者
5 負担金	650,000	700,000	△50,000	役員・選手負担金・健康診断選手
6 雑収入	30,000	30,000	0	寄付金等
7 一般会計繰入金	1,790,000	1,650,000	140,000	一般会計繰入金
合 計	5,330,000	5,830,000	△500,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	28年度予算額	27年度予算額	差 引 額	説 明
1 旅 費	60,000	70,000	△10,000	連絡旅費
2 通信運搬費	40,000	30,000	10,000	郵便料
3 会議費	60,000	70,000	△10,000	打ち合わせ等会議費
4 印刷費	20,000	20,000	0	強化、結果報告等印刷費
5 大会参加料	50,000	50,000	0	ブロック・中央大会参加料
6 強化費	800,000	800,000	0	選手強化関係費
7 派遣費	4,000,000	4,500,000	△500,000	中央大会派遣関係費
8 雑 費	50,000	40,000	10,000	ユニホーム代等
9 健康診断費	250,000	250,000	0	一般健康診断経費
合 計	5,330,000	5,830,000	△500,000	

(2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	28年度予算額	27年度予算額	差 引 額	説 明
1 県体育協会補助金	2,090,000	1,950,000	140,000	選手強化、ジュニア強化補助金
2 一般会計繰入金	810,000	880,000	△70,000	競技団体負担金
3 参加者負担金	300,000	300,000	0	役員、選手参加負担金
合 計	3,200,000	3,130,000	70,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	28年度予算額	27年度予算額	差 引 額	説 明
1 謝 金	600,000	600,000	0	指導者謝金
2 旅 費	800,000	750,000	50,000	指導者、選手宿泊費、交通費
3 需 用 費	800,000	800,000	0	消耗品（ボール等）、印刷費
4 通 信 運 搬 費	50,000	30,000	20,000	切手代
5 保 険 料	200,000	200,000	0	傷害保険料
6 使用料・賃借料	350,000	350,000	0	コート使用料
小 計	2,800,000	2,730,000	70,000	(補助対象経費)
7 そ の 他	400,000	400,000	0	(補助対象外経費) 昼食、飲物代等
合 計	3,200,000	3,130,000	70,000	

別表 平成28年度予算案

収入

1. 登録会費収入（18,470,000円）の内訳

科 目	28年度予算		27年度予算		備 考
	数	金 額	数	金 額	
社会団体登録料	97	1,455,000	98	1,470,000	@ 15,000円
大学団体登録料	11	33,000	14	42,000	@ 3,000円
高体連団体登録料	127	762,000	125	750,000	@ 6,000円
中体連団体登録料	635	1,270,000	630	1,260,000	@ 2,000円
レディース団体登録料	年額	50,000	年額	50,000	一括
団体登録料計	-	3,570,000	-	3,572,000	
会員登録料 (社会人団体 日本連盟)	1,100	1,100,000	1,100	1,100,000	@ 1,000円
〃 (社会人団体 県連盟)	1,100	1,100,000	1,100	1,100,000	@ 1,000円
〃 (学 連 県連盟)	200	100,000	210	105,000	@ 500円
〃 (高体連 日本連盟)	2,990	1,495,000	2,900	1,450,000	@ 500円
〃 (中学生 日本連盟)	20,700	10,350,000	20,800	10,400,000	@ 500円
〃 (小学生 日本連盟)	390	195,000	360	180,000	@ 500円
〃 (指導者 日本連盟)	560	560,000	550	550,000	@ 1,000円
会員登録料計		14,900,000		14,885,000	
合 計		18,470,000		18,457,000	

2. 大会参加料収入（6,746,500 円）の内訳

大会名	28年度予算			27年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
1 春季男女 BC 級大会		3,000 円	円	10	3,000 円	30,000 円
2 シングルス・ミックス大会	40	3,000	120,000	50	3,000	150,000
3 春季男女大会	250	3,000	750,000	240	3,000	720,000
4 秋季男女大会	210	3,000	630,000	210	3,000	630,000
5 夏季チーム対抗大会	23	7,000	161,000	25	7,000	175,000
6 勝抜チーム対抗大会	20	6,000	120,000	20	6,000	120,000
7 県一般選手権大会	230	3,000	690,000	220	3,000	660,000
8 関東大会県予選会	230	4,000	920,000	230	4,000	920,000
9 東日本選手権大会	65	5,000	325,000	130	5,000	650,000
10 社会人大会県予選会	70	4,000	280,000	75	4,000	300,000
11 全日本大会県予選会	65	4,000	260,000	75	4,000	300,000
12 実業団大会県予選会	8	15,000	120,000	7	15,000	105,000
13 中学校選手権大会	296	1,000	296,000	296	1,000	296,000
14 国体少年男女県予選会	345	500	172,500	350	500	175,000
15 国体成年男女県予選会	45	2,000	90,000	40	2,000	80,000
16 関東家庭婦人県予選会	75	4,000	300,000	75	4,000	300,000
17 中学校団体対抗大会	64	3,000	192,000	64	3,000	192,000
18 関東実業団リーグ	10	21,000	210,000	10	21,000	210,000
19 全日本クラブ選手権大会	27	16,000	432,000	25	16,000	400,000
20 全日本シニア選手権大会	40	5,000	200,000	60	5,000	300,000
21 日本スポーツマスターズ	7	4,000	28,000	10	4,000	40,000
22 シニアフェスタ	31	6,000	186,000	32	6,000	192,000
23 全日本小学生選手権	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
24 全日本小学生大会県予選会	40	750	30,000	70	750	52,500
25 都道府県全日本中学生	2	20,000	40,000	2	20,000	40,000
26 全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
27 日本リーグ	1	100,000	100,000	1	100,000	100,000
28 日本実業団リーグ	1	30,000	30,000	1	30,000	30,000
29 ジュニアジャパンカップ	2	2,000	4,000			
30 アジア選手権大会予選会	-	-	-	2	4,000	8,000
合計			6,746,500			7,235,500

3. 補助金収入（3,793,000 円）の内訳

項 目	28 年度予算		27 年度予算	
	内 容	金 額	内 容	金 額
日本ソフトテニス連盟	中学生選手権大会	30,000 ^円	中学生選手権大会	30,000 ^円
〃	小学生選手権大会	30,000	小学生選手権大会	30,000
〃	地域クラブ育成	335,000	地域クラブ育成	329,000
〃	ジュニア育成	2,326,000	ジュニア育成	2,324,000
〃	ソフトテニス週間	100,000	ソフトテニス週間	100,000
〃	全日本小学生交通費	120,000	全日本小学生交通費	129,000
〃	競技者育成推進	400,000	競技者育成推進	400,000
〃	日本スポーツマスターズ	150,000	日本スポーツマスターズ	100,000
〃	愛好者増加対策	150,000	愛好者増加対策	150,000
〃	指導者研修会交通費	42,000	指導者研修会交通費	41,000
県社会福祉協議会	シニアフェスタ	70,000	シニアフェスタ	65,000
大会実行委員会	全国小学生大会	20,000	全国小学生大会	20,000
〃	都道府県中学生大会	20,000	都道府県中学生大会	20,000
合 計		3,793,000		3,738,000

支 出

1. 大会参加料（2,536,000 円）の内訳

大 会 名	28 年度予算			27 年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
関東選手権大会	155	4,000 ^円	620,000 ^円	145	4,000 ^円	580,000 ^円
東日本選手権大会	65	4,000	260,000	130	4,000	520,000
実業団選手権大会	5	25,000	125,000	5	25,000	125,000
全日本社会人選手権大会	50	4,000	200,000	42	4,000	168,000
全日本選手権大会	9	4,000	36,000	9	4,000	36,000
関東家庭婦人大会	60	4,000	240,000	63	4,000	252,000
関東実業団リーグ	10	20,000	200,000	10	20,000	200,000
全日本クラブ選手権大会	27	15,000	405,000	25	15,000	375,000
都道府県全日本中学生	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
全日本シングルス大会	4	4,000	16,000	4	4,000	16,000
全日本シニア選手権大会	40	4,000	160,000	60	4,000	240,000
日本スポーツマスターズ	1	60,000	60,000	1	60,000	60,000
全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
全日本小学生選手権大会	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
日 本 リ ー グ	1	100,000	100,000	1	100,000	100,000
日本実業団リーグ	1	30,000	30,000	1	30,000	30,000
ジュニアジャパンカップ	2	2000	4,000			
アジア選手権大会予選会				2	4,000	8,000
合 計			2,536,000			2,790,000

代議員

所属団体名	代議員名
横浜市ソフトテニス協会	梅田宏司 湯原露江
川崎市ソフトテニス協会	中村勝 清水孝
横須賀ソフトテニス協会	栗本頼一 長澤孝雄
小田原ソフトテニス協会	柳川真寛 勝亦仁
藤沢ソフトテニス協会	久保為彦 菊地一圭
平塚市ソフトテニス協会	土屋真二 柏木雅昭
県央ソフトテニス協会	川又信夫 伊東和彦
相模原市ソフトテニス協会	秋山千代子 柳川守造
県レディースソフトテニス連盟	竹内美恵子 岸川廣子
県学生ソフトテニス連盟	今野元 岩田圭祐
県高体連ソフトテニス専門部	山本修 山本敏雄
県中体連ソフトテニス部	小林由孝 井上春彦